

# 東日本大震災による人工魚礁への影響

福島県水産試験場 漁場環境部

## 1 部門名

水産業－海洋生産－人工魚礁

## 2 担当者

島村信也

## 3 要旨

東日本大震災により、被害を受けた可能性のある人工魚礁について、水産試験場の漁業調査船「拓水」による調査を行い、地震発生前との状況の比較を行った結果、地震による被害は確認されなかった。

東京海洋大学の練習船「海鷹丸」により、いわき地区の人工魚礁の調査を行った結果、震災による被害は確認されなかった。

- 平成23年6月に相馬地区の人工魚礁3箇所及びいわき地区の人工魚礁1箇所の周辺において魚群探知機を用いた調査を行い、人工魚礁が設置海域内に配置されており、設置当初の高さを保っていることを確認した(表1)。
- 平成23年7月に相馬地区の人工魚礁2箇所においてサイドスキャンングソナー(以下SSS)を用いた調査を行い、人工魚礁が設置海域内において、設置当初のとおり配置されていることを確認した(図1)。
- 東京海洋大学の協力により、平成23年10月にいわき地区の人工魚礁において、練習船「海鷹丸」によるSSSを用いた調査が行われた。その結果、人工魚礁の設置海域内において、被害は確認されなかった。

## 4 成果を得た課題名

- 研究期間 平成23年度
- 研究課題名 海底環境と漁場形成に関する研究
- 参考となる成果の区分 (指導参考)

## 5 主な参考文献・資料

- 福島県沿岸海域マップ(平成21年3月)
- 人工魚礁潜水調査報告書(昭和49年度～昭和55年度)
- 福島県海域における魚礁設置事業実績(昭和63年3月)

表1 魚群探知機による人工魚礁調査状況

年月日	魚礁名	調査海域	水深(m)	高さ(m)	
				調査時	設置時
平成23年6月7日	相馬地区人工礁	37° 48.879' N 141° 11.347' E	40.8	約 3	3~4.5
		37° 48.905' N 141° 12.026' E	41.3		
		37° 51.373' N 141° 11.091' E	40.6		
		37° 49.430' N 141° 11.387' E	39.8		
平成23年6月8日	相馬地区大型礁	37° 49.640' N 141° 08.415' E	33.1	約 3~4	3~6
		37° 49.675' N 141° 08.549' E	32.6		
		37° 49.885' N 141° 08.799' E	33.9		
		37° 49.886' N 141° 08.917' E	34.2		
平成23年6月16日	相馬地区人工礁	37° 51.057' N 141° 11.154' E	39.5	約 7	7.06
平成23年6月27日	いわき地区人工礁	37° 01.668' N 141° 01.938' E	47.4	約 4	4.5

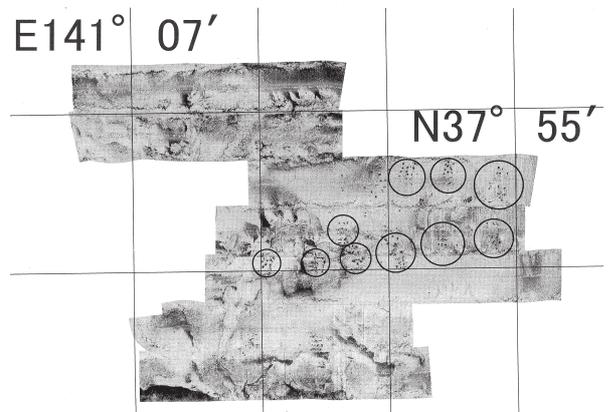


図1 SSSによる海底地形図(相馬地区大型礁)